



大津小学校で「ジュエリーアイスアート」



2月9日、大津小学校で「ジュエリーアイスアート」を体験する授業が行われました。

この日はよく晴れて風もない過ごしやすい日で、子どもたちは大津前浜に到着後、打ち上げられたジュエリーアイスや流木、貝殻などを使って思い思いの形を作り上げ、前日までに作成した氷のお面を置いて自分だけの「ジュエリーアイスアート」を完成させました。



今この季節だけ楽しめる豊頃町の新たな魅力となったジュエリーアイスを堪能しました。

大谷短大『劇団アンタレス』が公演



2月8日、える夢館で平成29年度幼児芸術鑑賞会『劇団アンタレス』演劇発表会が行われました。

劇団アンタレスは、大谷短期大学地域教養学科の2年生7名からなる劇団です。

この日は茂岩保育所と大津保育所の幼児とその保護者らが訪れ、演劇『にげだしたおおおとこ』や『おぼすてやま』、紙芝居『平原鹿物語』などが上演されました。

子どもたちは「おおおとこが来てよかった」「すごく面白かった」と話し、最後には帯広市の平原通商店街振興組合事務局長の長氏から『平原鹿物語』にちなんだどら焼きのプレゼントがあり、訪れた幼児たちは笑顔で公演を楽しみました。

第13回豊寿大学・生涯教室学習発表会

2月17日、える夢館で、『第13回豊寿大学・生涯教室学習発表会（舞台発表）』が開催されました。

参加者全員による町歌の合唱で始まり、器楽にカラオケ、ダンス、仮装踊り、舞踊など豊寿大学8科、5生涯教室の学生らが日ごろの学習の成果を存分に発揮しました。また、える夢キッズによる和太鼓演奏やダンスのパフォーマンス、豊頃中学校吹奏楽部による「きよしのずんどご節」などが披露され、はるにれ通りギャラリーでは、写真や俳句、書道、リボンフラワーなどの展示のほか、チャリティーバザーが行われ、子どもからお年寄りまで世代を超えて楽しんでいました。



ウクレレしょうねんだん U900笑年団がチャリティライブ



2月11日、U900笑年団（松原敏行代表ら9名）が、はるにれ友遊館にてチャリティライブを開催しました。

「ウクレレ cafe & MATSUDAマジックショー」と題し、午後7時からスタートしたコンサートは、子どもから大人まで楽しめる楽曲を披露し、観客を沸かせました。コンサートのほか、マジックショー（松田茂さん）やビンゴ大会が開かれ、観客は大いに楽しみました。また飲み物などの提供もあり、収益の一部は社会福祉協議会へ寄附されました。



牛首別農事組合が排雪奉仕



2月5日、牛首別農事組合（武隈英和組合長）の組合員16人が、町内14か所で公共施設敷地内に積まれた雪を取り除く（排雪作業）ボランティアを行いました。

午前8時30分から午後3時過ぎまで行われた排雪作業は、主に役場前駐車場やえる夢館駐車場、消防署といった公共施設を中心に行われました。

このボランティア活動は、平成19年度から行われているもので、今年で11年目を迎えます。この活動により、高く積まれた大量の雪がきれいに取り除かれた様子を見た利用者らが「大変ありがたい」と毎年の活動に感謝していました。

十勝剣道祭



2月18日、第24回十勝剣道祭 十勝地方市町村交流大会兼十勝女子剣道選手権大会（十勝地方剣道連盟連絡協議会主催）が豊頃町総合体育館で開催されました。十勝管内の剣士が一堂に集まり、試合を通し交流を図ることで、地域の剣道振興を深めることを目的とし、管内の市町村を回って開催されています。

帯広市や音更町などから集まった剣士は、4会場に分かれ、個人戦、団体戦を行いました。女子選手のみ個人戦が行われ、剣士たちの白熱した試合が繰り広げられました。試合終了後、える夢館にて成績発表が行われ、各部門ごとに表彰が行われました。

える夢オトナの文化講座



2月7日、14日、21日の3日間、「える夢オトナの文化講座」が開かれ、鳥宮文さん（ヒーリングルームMe-nou店主、帯広市）をお招きし、色彩心理学を通じて今の心の状態や健康状態を知ることができるなど、色と心が密接につながっていることを学びました。また、色と香りを感じる感覚はとても近いところにあるため、それらを通じて「どんな気持ちでいるか」などを知る助けとなることを学び、最終日にオリジナル消臭リネンウォーターとオリジナルハンドクリームを参加者全員で作成して終了しました。参加者は色や香りがもたらすメリットやデメリットを学べたことを「これからの生活に生かしたい」と笑顔で話しました。

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

社協だより

役場だより

▽はるにれは見ていた 広報とよころ

社協だより

役場だより

